



RAKUWA
lecture of health

第54回 らくわ健康教室

2011年6月3日



盲腸・脱腸・痔ってなに？ どんなもの？

洛和会丸太町病院 外科・消化器センター 医長 とくい まさふみ 得居 将文



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院



RAKUWA
lecture of health

第54回 らくわ健康教室 2011年6月3日

盲腸・脱腸・痔ってなに？ どんなもの？

俗にいう盲腸？ 脱腸？ 痔？ とは

盲腸 ▶ 急性虫垂炎

脱腸 ▶ 鼠径ヘルニア

いぼ痔 ▶ 内痔核または外痔核

きれ痔 ▶ 裂孔

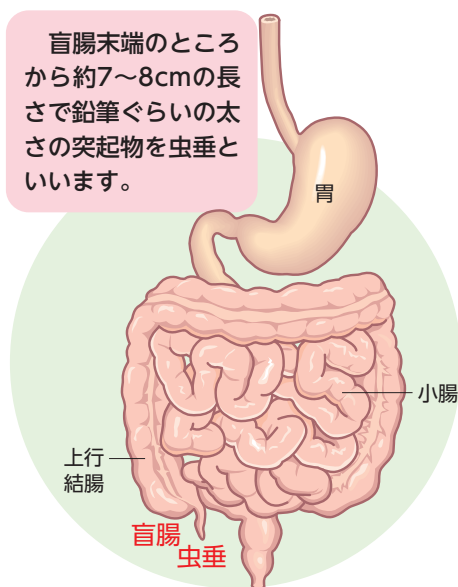


急性虫垂炎

一般的にいられている「盲腸」は、正式には「急性虫垂炎」といいます。

● 虫垂炎とは？

盲腸末端のところから約7~8cmの長さで鉛筆ぐらいの太さの突起物を虫垂といいます。



虫垂内部が何らかの原因で詰まってしまい、細菌感染を併発（化膿）した状態です。詰まる原因は、腸の内容物（糞便の塊）が多いようです。6~30歳でよく起こるといわれますが、全年齢層にみられ、特に男女差はありません。

● 虫垂の役目は？

虫垂にはリンパ濾胞※が発達していて、体を守る働きをしているのではないかとされています。

※リンパ球などがびっしりと詰まった球状のかたまり

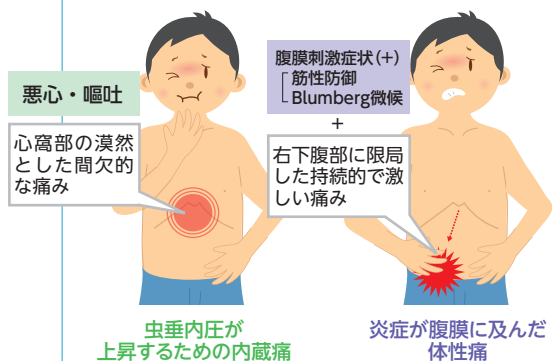
● 症状

典型的な症状としては、上腹部の不快感から始まって、次第に右下腹部がズキズキと痛み始めます。時間が経つに伴い、嘔吐、発熱、食欲不振などが出現します。炎症が進み虫垂の壁に孔があくと、腹膜炎を起こし、ズキズキする痛みがお腹全体に広がります。

経過によって変化する虫垂炎の症状の経過

初期

進行





●緊急時の対応

自覚症状で虫垂炎を疑うときは、何も食べずに医療機関を受診してください。緊急手術の可能性もあり、胃内容物があると、麻酔をかけにくいからです。（これは虫垂炎だけでなく、一般的にもいえます）

●予防

虫垂炎にかかる人が全員不摂生という訳ではありませんが、暴飲暴食、過労、風邪、便秘などが考えられますので、まずは規則正しい生活を心掛けてください。

鼠径ヘルニアについて

鼠径ヘルニアは俗に脱腸といわれますが、ある程度の年齢（40～50歳代以降）から発生頻度が多くなります。股の付け根の部分に生じてくる出っ張りを自覚します。

鼠径ヘルニアについて

鼠径部（股の付け根）には、筋膜構造の弱い部分（孔）が構造的に存在します。2足歩行をする人間では、腹圧が最もかかる場所です。

お腹の中の臓器

- 大網（たいもう：胃や大腸に付着する脂肪組織）
- 腸管（小腸、大腸）⇒「脱腸」といわれた理由
- 卵巣
などがその孔から出たり入ったりするようになります。

鼠径ヘルニアの症状

股の付け根の部分（鼠径部）に生じてくる出っ張り（膨隆）を自覚することになります。

お腹に力が入るような動作や立ち仕事の後で出てきます。



大抵は、自分で押さえると引っ込んで元に戻ります（還納できる）。

大きく出っ張って陰嚢まで腫れる場合もありますが、大腸が出てくる場合は便秘などの症状をきたすこともあります。



●注意点

脱出したまま戻らず、痛みが増してきたときや、腫れがひどくなってきたときは要注意です。「嵌頓」といって元に戻らない状態が考えられ、腸閉塞が起こったり、腸が腐ったり（壊死）して、命にも関わります。すぐに医療機関を受診してください。

●標準治療

歩行可能な方には、基本的に手術を勧めます。2つの方法があります。

①孔を糸で縛って閉じる

②人工線維（メッシュ）を使用して孔をふさぐ

最近は腹腔鏡を用いた、体に負担の少ない手術も行われています。

● 予防法

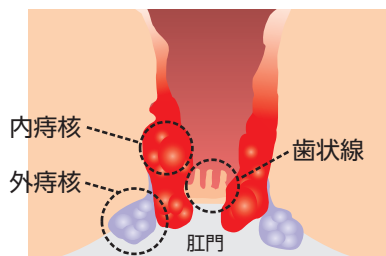
残念ながら予防法はありません。なお、通販などで出回っている「ヘルニアバンド」などは、医学的にはお勧めできません。鼠径ヘルニアとわかったら早期の手術治療が最善の方法です。

痔についての注意・予防

肛門は約3cmの長さで、血管が発達していてクッションのような構造になっています。

- 歯状線より奥にできる痔核が内痔核 (痛みはありません)
- 歯状線より浅い所にできる痔核が外痔核 (血マメを伴うと激しく痛みます)

(便秘時の硬い便などで裂けると裂肛となり痛みを伴います)



痔核や裂肛は生活習慣病の1つです。肛門管に炎症を起こす主な原因は、次のとおりです。

炎症を起こす主な原因

- ① 排便異常
- ② 疲れ
- ③ ストレス
- ④ 体の冷え
- ⑤ 飲酒
- ⑥ 座りっぱなし、立ちっぱなし
- ⑦ 妊娠と出産



● 大事な注意点 ●

おしりから出血している、または便に血が付着している原因は痔であることが多いのですが、まれに大腸がんの場合もあるので、大腸の検査(大腸カメラ)を勧めています。

